

(仮称) 津市津西会館別館機械設備工事

図 面 リ ス ト	
機械設備工事	
図面番号	図 面 名 称
M-01	特記仕様書 (1)
M-02	特記仕様書 (2)
M-03	工事区分表
M-04	附近見取図・配置図
M-05	凡例・衛生機器表・衛生器具表
M-06	給排水衛生設備 1階平面図
M-07	給排水衛生設備 1階平面詳細図
M-08	凡例・空調換気機器表
M-09	空調設備 1階平面図
M-10	換気設備 1階平面図
M-11	換気計算書
M-12	立面図
参-01	断面詳細図 (1)
参-02	断面詳細図 (2)

内田構造建築工房

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m 以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m 以下
鉛管			1.5m 以下
鉄鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鉄鉄管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m 以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m 以下 基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト □ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 □ アングルフランジ工法
□ 共板フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト ■ スパイラルダクト
□ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料
- | | |
|---------------------|--|
| ■ グラスウール保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K |
| ■ 給水管 | 排水管 □ 給湯管 □ 温水管 |
| □ 蒸気管 | 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 ■ ダクト |
| (屋外等) | |
| □ 給湯管 | 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 |
| □ 冷媒管 | □ □ □ □ |
- | | |
|------------------------|--------------------------|
| □ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等) | 保温帯、フランケット 1号 JIS A 9504 |
| □ 給水管 | 排水管 □ 給湯管 □ 温水管 |
| □ 蒸気管 | 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □ 消火管 |
- | | |
|-------------------------|--|
| ■ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9511 3号
保温板 JIS A 9511 3号 |
| □ 給水管 | 排水管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷水管 (2~4℃) |
| □ フライン管 | □ □ □ □ |
| (屋外等) | |
| ■ 給水管 | 排水管 □ 給湯管 □ 冷水・冷温水管 |
| □ フライン管 | □ 消火管 □ □ □ □ |
- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| □ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 (露出) | JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 |
| □ 給水管 | 排水管 □ 通気管 □ ドレン管 |
| □ ガス管 | 消火管 □ 油管 □ 冷却水管 |
| □ ダクト (亜鉛鉄板製) | ダクト (鋼板製) |
- | | |
|---------------------|----------------------------|
| □ さび止めペイント塗り塗料 (露出) | JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 |
| □ 蒸気管 (往) | ダクト (鋼板製) |

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯60A	100~150A	-	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	~25A	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	-	-	~25A	32~200A	250A~
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
フライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙罩(ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	アルミ化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ピット内)の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上
(温水・蒸気管以外)				
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 鋼板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線
冷水・冷温水ヘッダ				SUS鋼板仕上 カラー亜鉛鉄板(屋内)
温水・膨張・還水 貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	
温水・蒸気ヘッダ 熱交換器				SUS鋼板仕上 カラー亜鉛鉄板(屋内)

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板
	機械室	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S内	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	カラー鉄板
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム
サブライチャンパー	鉄	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網
消音チャンパー、エルボ	鉄	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
煙道			ブランケ	鋼線

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。

※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S 021による防錆処理を施した平ラス0号で外面補強したものを使用。

※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数		備考
			下塗り	中塗り	上塗り
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1

※ 1) わじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA □ 保温あり □ 保温なし ■ 図面による □ その他 ()
3. RA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり □ 保温なし ■ 図面による □ その他 ()

チャンパー内貼施工

- 内貼あり (mm) □ 内貼なし ■ 図面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大(=2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(突管ダクト)とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の前震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持架を使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の次対策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場内敷均しとすること。

施工方法及び検査に関する事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動(全工事共通)・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。
※ 工事期間中、工事に起因し、既存物に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書提出すること。
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※ 高所等の施工箇所完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
※ 本工事期間の敷地内において、外構工事(土木工事)が別途行われるためお互いの工事遂行に影響がないよう受注者と協力し、調整を行うこと。(外構工事着手予定: 令和4年1月中旬)
※ 公共下水は令和4年3月31日供用開始予定のため、公共樹への接続は共用開始以降に行い、下水道工務課の検査を速やかに受けること。

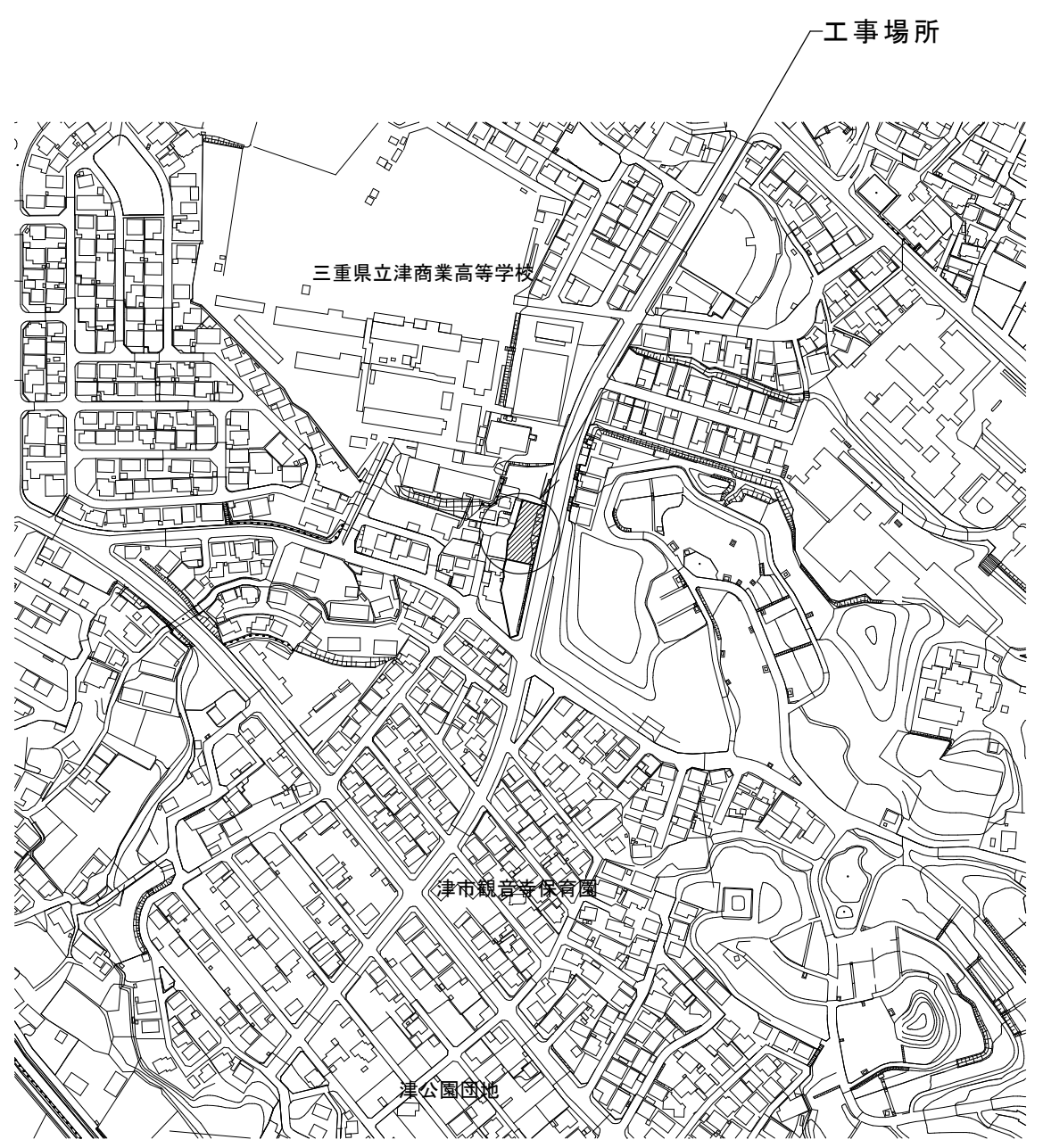
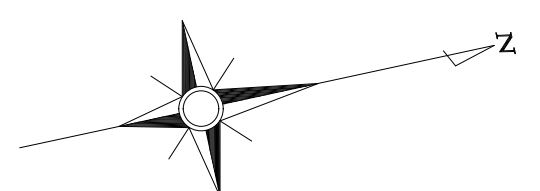
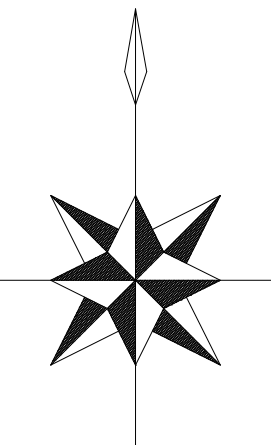
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司

大臣登録番号 一級 No.215989
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

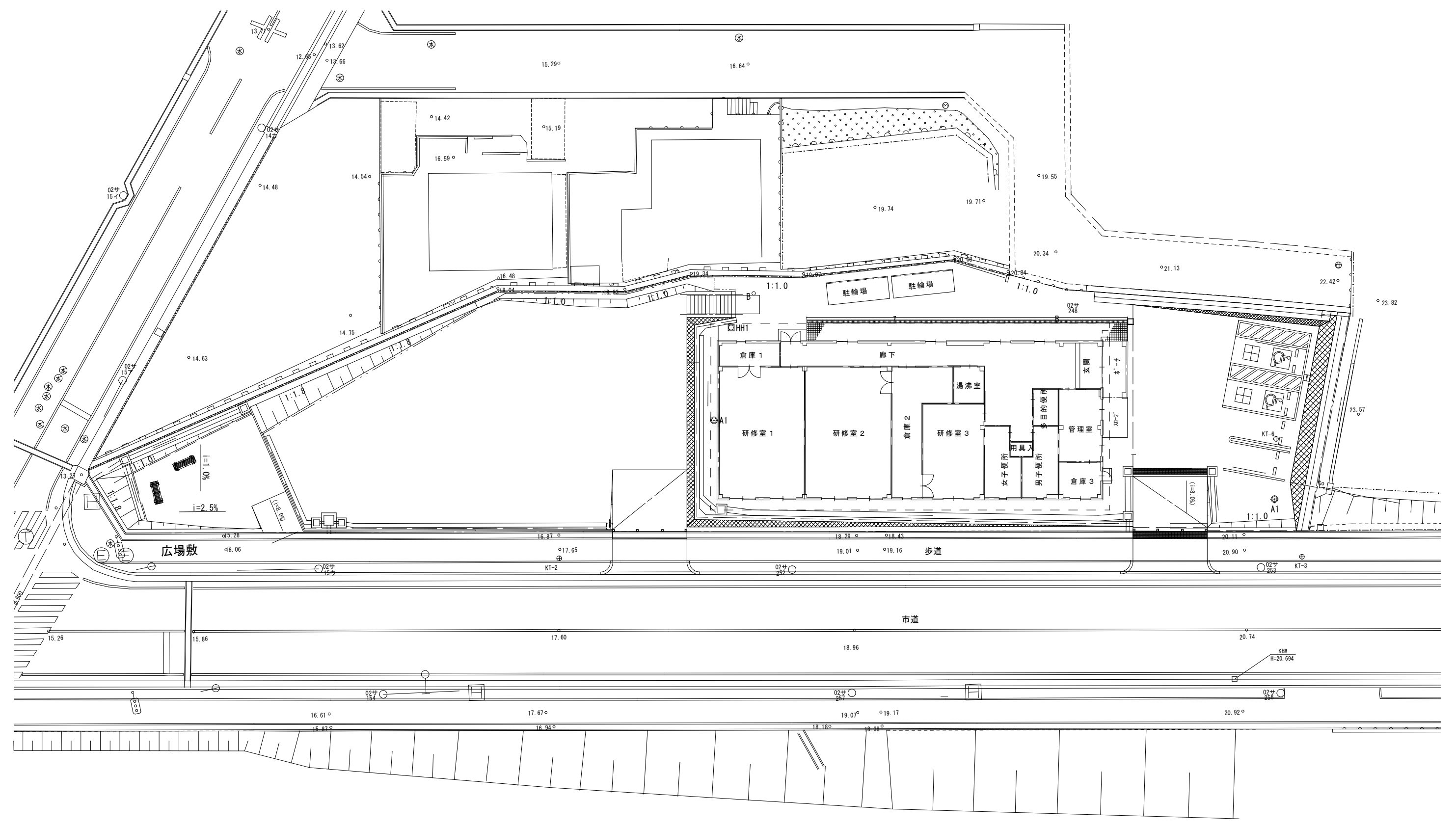
年月日	工事名称	図面番号
縮尺 A2 NS	(仮称)津市津西会館別館機械設備工事	M-02 原図A2
	図面名	特記仕様書(2)

総合仮設・直接仮設 工事区分						
工事	工種	項目	工事区分			
			建築	電気	機械	
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所 同備品				
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○	○	共同1棟可
		仮設便所	○	○	○	共同1棟可
	工事施設	仮囲い	○			
	現場安全	安全費	○	○	○	統括安全衛生管理は、 建築受注者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○	○	
		揚重機費	○	○	○	
	その他	各種試験費	○	○	○	
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○	○	
		周辺道路清掃	○	○	○	
直接仮設工事		仮設足場	○			各設備業者に対して 無償にて使用させる こと。
		清掃・片付け	○	○	○	
		養生	○	○	○	

工事区分											
No.	項目	建築	電気	機械	No.	項目	建築	電気	機械		
										建築	電気
1	機械基礎及びその仕上			○	28	避難器具					
2	鉄筋コンクリート造の設備工事に 関するスリーブ及び箱入れ、穴埋め		○	○	29	受水槽・その他の水槽等のコンクリート 躯体・断熱及び防水工事					
3	同上鉄筋補強	○			30	同上内部仕上・マンホール及び タラップ					
4	鉄骨造の設備工事に関するスリーブ 及び補強	○			31	オイルトラップ					
5	機器取付用アッカー・架台	○	○	○	32	排水溝(浴室・洗車場) 雨水排水縦樋	○				
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強				33	雨水排水縦樋の柵までの横引き 柵及び柵蓋					○
7	軽量鉄骨下地天井、	○			34	雨水配管の防露工事					
	補強										
8	壁ボード類の切込	○			35	ピット・トレンチ内の排水設備工事					
	切込										
9	埋込分電盤	○			36	浴室及び便所の排水目皿及び 排水設備工事					○
	端子盤										
10	ブルボックス	○			37	陶製以外の流し類(業務用等の厨房流し を除く)	○				
	切込										
11	乾式壁に取付ける器具の下地補強	○	○	○	38	同上 附属金物及び接続工事					○
12	設備工事に伴う防水貫通屋上スラブ コンクリート立上げ				39	浴槽					
13	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞		○	○	40	鏡(衛生工事に関連しない場合・特殊 寸法の場合)	○				
14	屋内外ピット・トレンチ及びそれらの蓋 マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋		○	○	41	建物外内壁・ドア・窓枠に取付ける ガラリ類(ガラリ取付け本枠等も含む)	○				
15	屋外配管用スタンション		○	○	42	ウェザ-カバー・ベントキャップ					○
16	二重スラブ内の水及び空気の漏通管 二重壁内の湧水処理費				43	洗面カウンター					○
17	大理石・テラゾ-・ALC・PC・RC版・鋼板 などの穴あけ		○	○	44	消火器	○				
18	同上 穴あけに伴う補強	○			45	衛生器具ユニット					○
19	設備機器・ダクト類の化粧囲い		○	○	46	エレベーター機械室の天井フック取付 ・床穴あけ及び床増内コンクリート					
20	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカ ・換気扇等の穴あけ		○	○	47	吊ボルト用インサート	○	○	○		
21	同上 天井穴あけ部の下地補強	○			48	別途機器などへの接続 (直接に接続するもの)					
22	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの 点検口	○			49	付属の制御盤以降の配管・配線 (接地等)					
23	流し台・吊戸棚・IHコンロ・レンジフード	○			50	付属の制御盤への電源供給及び操作 回路の渡り配管・配線					
24	ユニットシステム(バス・トイレ・キッチン) への配管・配線及び接続		○	○	51	エアコンのリモコン配管、配線 制御配線					○
25	保守用キャットウォーク・タラップ手摺 (設備機器に装着するものを除く)				52	煙感知機から連動制御盤を経て防煙ダ ンパに至る配管・配線					
26	換気扇(取付枠共)			○	53	小便器用節水装置の制御盤以降の配管 配線					○
27	同上 穴あけに伴う補強	○		○	54	電力	○	○	○		
28	配電盤・制御盤等の基礎(屋内外)				55	用水	○	○	○		
29	ルーフファン										



附近見取図



<p style="text-align: center;">内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 <small>大臣登録番号 一級 No.215089</small></p> <p>三重県知事登録 第1-1522号 <small>〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085</small></p>				年月日	工事名称 (仮称) 津市津西会館別館機械設備工事	図面番号
				縮尺 A2 1/300	図面名 附近見取図・配置図	M-04 原図A2

衛生凡例

記号	名称	摘要
----	給水管	屋外埋設：水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）
		屋内埋設：水道用塩化ビニル鋼管（SGP-VD）
		一般：水道用硬質塩化ビニル鋼管（SGP-VB）
		一般：フランジ付水道用硬質塩化ビニル鋼管（SGP-FVB）
-----	屋外排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）但し150以上は特記以外VU
-----	汚水管	埋設：硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
-----	雑排水管	埋設：硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
- - - - -	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
---⊗---	仕切弁	
---○---	汚水小口径掛	
---⊗---	排水掛	
---⊗---	給水栓	
---⊗---	混合水栓	
---⊗---	フラッシュ弁	
---⊗---	床上掃除口	
---⊗---	床下掃除口	
---●---	埋設標示	埋設標示コンクリート製杭、埋設標示ピン

衛生機器表

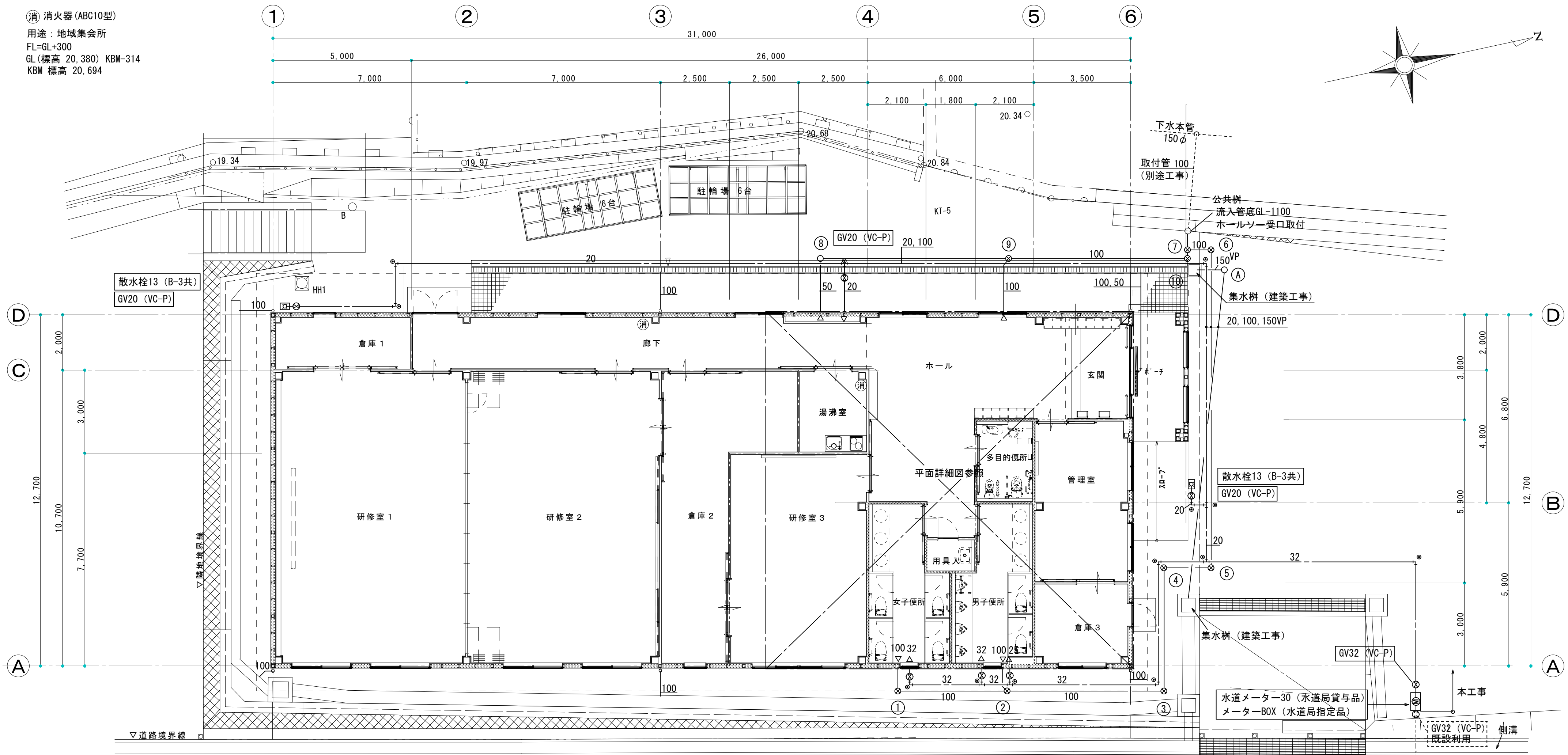
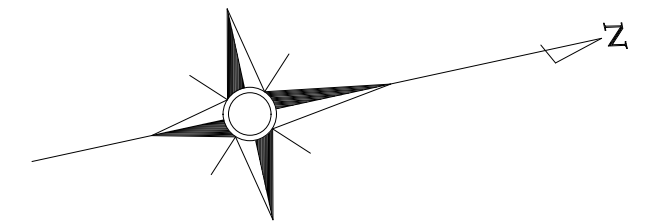
記号	機器名称	機器仕様		電源		設置場所	台数	備考
		形式	床置形	φ-V	kW			
EW-1	電気温水器 (飲料、洗い物用)	形式 貯湯量 付属品	先止式 温度調節機能、節電機能付 12L 止水栓13A、ウイクリータイマー、耐震用脚、開放式排水ホッパー、他付属品共 フレキシブル管13φx500Lx3本（混合水栓接続用x2、電気温水器給水接続用x1）	1φ100V	1.1 (ヒーター)	湯沸室	1	参考品番： REKB12A12
注記	ヒーター電力は参考数値とする。							

衛生器具表

名称	参考品番 (TOTO)	参考品番 (LIXIL)	合計	男子便所	女子便所	多目的便所	用具入	湯沸室	屋外
洋風便器	CFS498BCK, TCF589AU (温水洗浄便座)	BC-P110SMA, DQ-PA150CH, CW-PB11FLQE-NE (温水洗浄便座), CF-020-SET	6	2	4				
多目的便器	CFS498BCK, TCF5840AUPS (温水洗浄便座)	BC-P110SMA, DQ-PA150CH, CW-PC12QE-NECK (温水洗浄便座), CF-020-SET	1			1			
幼児用洋風便器 (3~5歳児用)	CS300B, S300BK, TS300SGR, TCF40 (暖房便座), T82C38	C-P143S, DT-520XECH38, CF-43DCK (暖房便座), CF-121L, CF-103BC, CF-8AWP	1			1			
紙巻器	YH702 (二連式紙巻器)	CF-63HST (二連式紙巻器)	7	2	4	1			
幼児用手すり	YYB10P2S, 付属固定金具共	該当品なし	1			1			
L形手すり	T112CL10, 付属固定金具共	KF-920AE70D12J, 付属固定金具共	6	2	4				
L形手すり	T112CL11, 付属固定金具共	KF-926AE80D25J, 付属固定金具共	1			1			
はねあげ手すり	T112HP7, 付属固定金具共	KF-481EHP70J	1			1			
自動洗浄小便器	UFS900JS, 他付属品共	U-A51AP	4	4					
小便器用手すり	T112CU22, 付属固定金具共	KF-701AEJ, 付属固定金具共	1	1					
オストメイトバック	UAS81LDB2, UTR141	PTOM-B210W, PTOM-ESCR	1			1			
ベビシート	YKA25R, 付属固定金具共	AC-OK-21F, 付属固定金具共	1			1			
掃除流し	SK22A, T23AEQ20C, T37SGEP, TN114, T9R, TK22, HH04060	S-200, LF-7K-19, SF-20SAF-P, SF-10E	1				1		
洗面器 (溢れ面H=750)	L270CM, TEN77G1 (自動単水栓), TLDP2201J, TL220D, HH04060, TS126AR (水石入れ)	L-275FCRS, AM-311V1 (自動単水栓), LF-WN7PF, AY-34 (1P), SF-10E, AY-55DN, KF-24F (水石入れ)	1			1			
はめ込み洗面器 (溢れ面H=750)	L532, TEN41A (自動単水栓), TLDP2201J, TS126BR (水石入れ), 付属固定金具共	L-2295, AM-300V1 (自動単水栓), LF-WN7PF, LF-625K, KF-24FL (水石入れ), 付属固定金具共	6	3	3				
洗面カウンター	ML60 (オニックス: L=2460), 1方向エプロン, ブラケット架台 ※洗面器3組	MB-600SS (2460), 1方向エプロン, ブラケット架台 ※洗面器3組	2	1	1				
手洗器	LSE570APR (自動単水栓)	AWL-71U2AM (P) (自動単水栓)	1			1			
化粧鏡	YM4510FA (450x1000)	KF-4510A (450x1000)	7	3	3	1			
散水栓	T28UNH13, B-3	LF-33-13-CV, B-3	2						2
コンパクトキッチン：建築工事	混合水栓, 排水金物, IHクッキング2口コンロ, レンジフードファン, 他付属品共 ※配管接続は本工事		(1)					(1)	

<p style="text-align: center;">内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 <small>大臣登録番号 一級 No.215989</small> <small>三重県知事登録 第1-1522号</small> <small>〒514-1107 三重県津市久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085</small></p>	年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 A2 NS	図面名 凡例・衛生機器表・衛生器具表	M-05 原図A2

(消) 消火器(ABC10型)
 用途：地域集会所
 FL=GL+300
 GL(標高 20,380) KBM-314
 KBM 標高 20,694



管底深さは設計GL基準
 管底深さの数値は参考とする。
 排水配管の勾配は1/50とする。

排水樹表 小口径塩ビインパート樹

記号	名称	大きさ	管底深さ	樹形状	蓋種類
①	汚水樹	200φ	-300	100-90L	塩ビ蓋
②	"	"	-400 (流出)	100-45YS(段差付)	"
③	"	"	-520	100-90L	"
④	"	"	-610	100-90L	"
⑤	"	"	-640	100-90L	内蓋+ 鑄鉄製防護ハットT8
⑥	"	"	-880	100-90L	"
⑦	"	"	-940	100-45YS(段差付)	塩ビ蓋
⑧	"	"	-300	100-90L	"
⑨	"	"	-470 (流出)	100-45YS(段差付)	"
⑩	"	"	-600 (流入)	100-DR	"

凡例

● 埋設標示ピン

排水樹表 塩ビ製溜め樹 (バケツ付)

管底深さは設計GL基準
 管底深さの数値は参考とする。

記号	名称	大きさ	管底深さ	樹形状	蓋種類
Ⓐ	雨水樹	200φ	-300	150-90L	鑄鉄製防護ハットT-8

内田構造建築工房

一級建築士 内田 浩司
 大臣登録番号 一級 No.215989
 三重県知事登録 第1-1522号
 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 (仮称)津市津西会館別館機械設備工事	図面番号
縮尺 A2 1/100	図面名 給排水衛生設備 1階平面図	M-06 原図A2

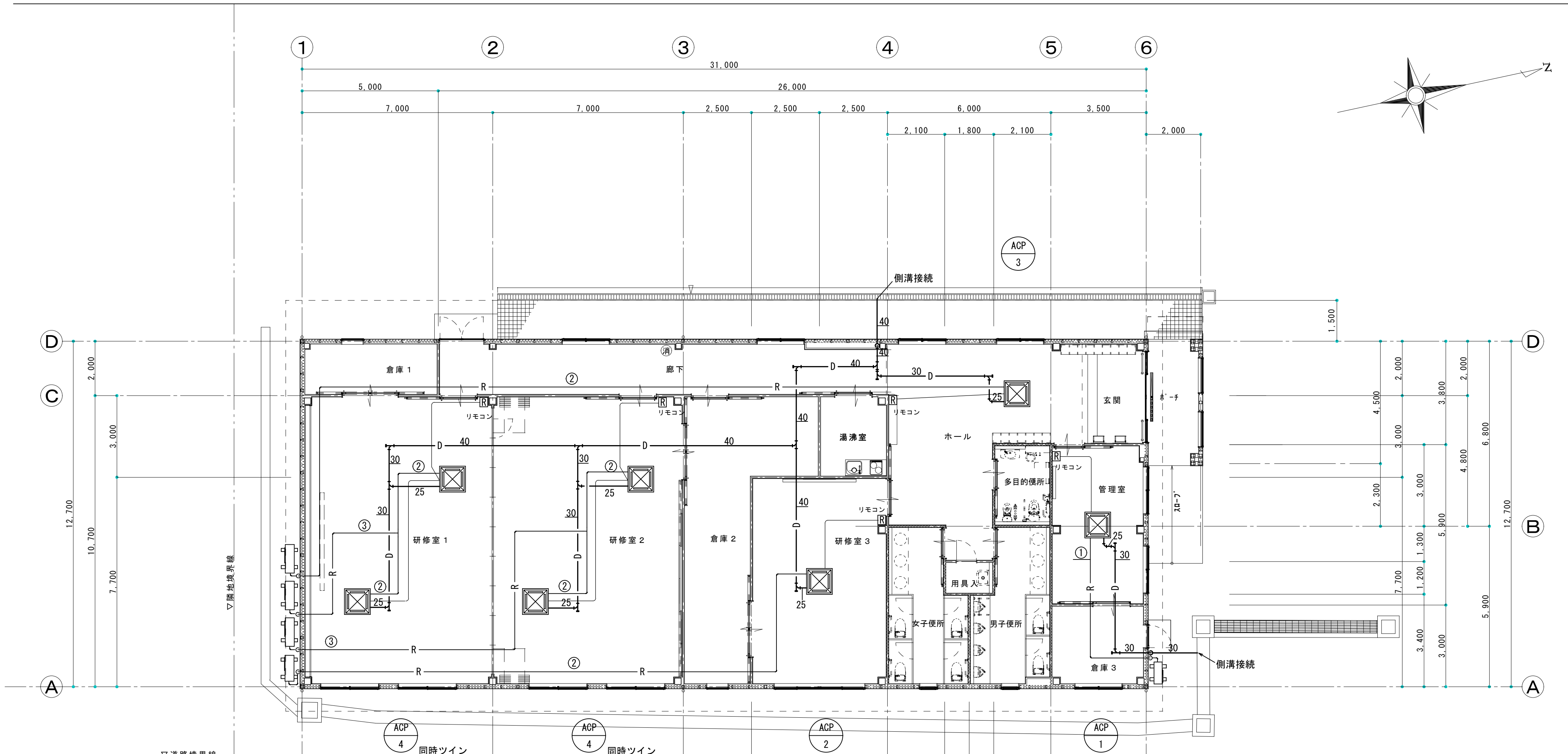
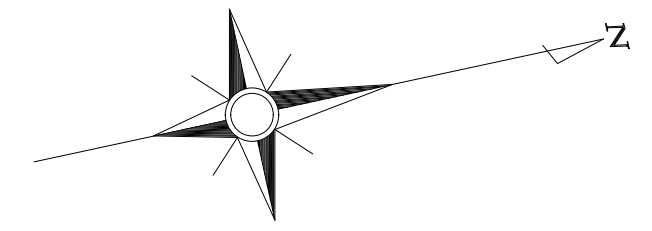
凡 例	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	R	冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管 ガス管：保温厚20mm 液管：保温厚8～10mm	R	空調リモコンスイッチ		パイプフード
	D	ドレン管：硬質ポリ塩化ビニル管		スパイラルダクト		
		空調室内機		天井換気扇・排気ファン		
		空調室外機		吹出・吸込口		

空調機器表 形式 ヒートポンプ式（EHP）

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 (kW)	送風機 内 (kW) 外 (kW)			
ACP-1	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式 天井カセット4方向吹出 定格冷房能力 4.5 kW 定格暖房能力 5.0 kW 冷房消費電力 1.05 kW 暖房消費電力 1.17 kW 低温暖房消費電力 2.03 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 ワイヤードリモコンスイッチ、他付属品一式 室内機：振れ止め金具、防振吊金具 室外機：転倒防止金具	3	200	1.0	0.05	0.04	1	設置場所：管理室
ACP-2	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式 天井カセット4方向吹出 定格冷房能力 10.0 kW 定格暖房能力 11.2 kW 冷房消費電力 2.32 kW 暖房消費電力 2.45 kW 低温暖房消費電力 5.13 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 ワイヤードリモコンスイッチ、他付属品一式 室内機：振れ止め金具、防振吊金具 室外機：転倒防止金具	3	200	2.10	0.12	0.20	1	設置場所：研修室3
ACP-3	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式 天井カセット4方向吹出 定格冷房能力 14.0 kW 定格暖房能力 16.0 kW 冷房消費電力 4.27 kW 暖房消費電力 4.13 kW 低温暖房消費電力 6.50 kW 付属品 化粧パネル、標準フィルター、 ワイヤードリモコンスイッチ、他付属品一式 室内機：振れ止め金具、防振吊金具 室外機：転倒防止金具	3	200	3.50	0.12	0.20	1	設置場所：ホール
ACP-4	ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式 天井カセット4方向吹出：同時ツイン 定格冷房能力 20.0 kW 定格暖房能力 22.4 kW 冷房消費電力 6.49 kW 暖房消費電力 5.75 kW 低温暖房消費電力 8.53 kW 付属品 化粧パネルx2、標準フィルターx2、 ワイヤードリモコンスイッチ、他付属品一式 室内機：振れ止め金具、防振吊金具 室外機：転倒防止金具	3	200	4.60x2	0.12x2	0.15x2	2	設置場所：研修室1・2
注記	<p>運転特性、能力はJIS条件による。 電源容量値は参考とする。空調機トップランナー基準改定仕様とする。 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。 室外機－室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 リモコン配線共本工事とする。 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様による。</p>		<p>グリーン購入法基準を適用するものとする。 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 アンカーはケミカルアンカー仕様。 室外機は防振ゴムシート（t=10以上）を敷くこと。</p>						

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (W)		
FV-1	天井換気扇	形式 低騒音インテリア形：鋼板製ボディ 風量 150 m ³ /h ダクト径 100 φ 静圧 70 Pa 付属品 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付150φ、天吊防振金具、その他付属品共	1	100	22.5	1	設置場所：管理室 参考品番：VD-15ZXP12-C
FV-2	天井換気扇	形式 低騒音インテリア形：鋼板製ボディ 風量 390 m ³ /h ダクト径 150 φ 静圧 140 Pa 付属品 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付150φ、天吊防振金具、その他付属品共	1	100	82/59	5	設置場所：研修室1・2・3 参考品番：VD-23ZX12-C
FV-3	天井換気扇	形式 低騒音：サンタリー用鋼板製ボディ 風量 160 m ³ /h ダクト径 100 φ 静圧 60 Pa 付属品 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付150φ、天吊防振金具、その他付属品共	1	100	23.0	1	設置場所：多目的便所 参考品番：VD-15ZP12
FV-4	天井換気扇	形式 低騒音：サンタリー用鋼板製ボディ 風量 400 m ³ /h ダクト径 150 φ 静圧 140 Pa 付属品 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付150φ、天吊防振金具、その他付属品共	1	100	82/38	2	設置場所：男子便所、女子便所 参考品番：VD-23ZB12
FV-5	レンジフードファン (建築工事)	形式 低騒音 シロッコファンタイプ 600W x 700H 風量 450 m ³ /h ダクト径 150 φ 静圧 100 Pa 付属品 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付150φ（本工事）	1	100	110/45	1	設置場所：湯沸室
OG-1	給気口ベンドキャップ	形式 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：防虫網付150φ				1	設置場所：図示参照
OG-2	給気口ベンドキャップ	形式 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：防虫網付200φ				5	設置場所：図示参照
OG-3	給気口ベンドキャップ	形式 SUS製丸形防風板付ベントキャップ：防虫網付250φ				2	設置場所：図示参照
注記	<p>電源容量は参考数値とする。 ベントキャップは指定色焼付塗装仕上げとする。 機器は同等品以上とする。</p>						

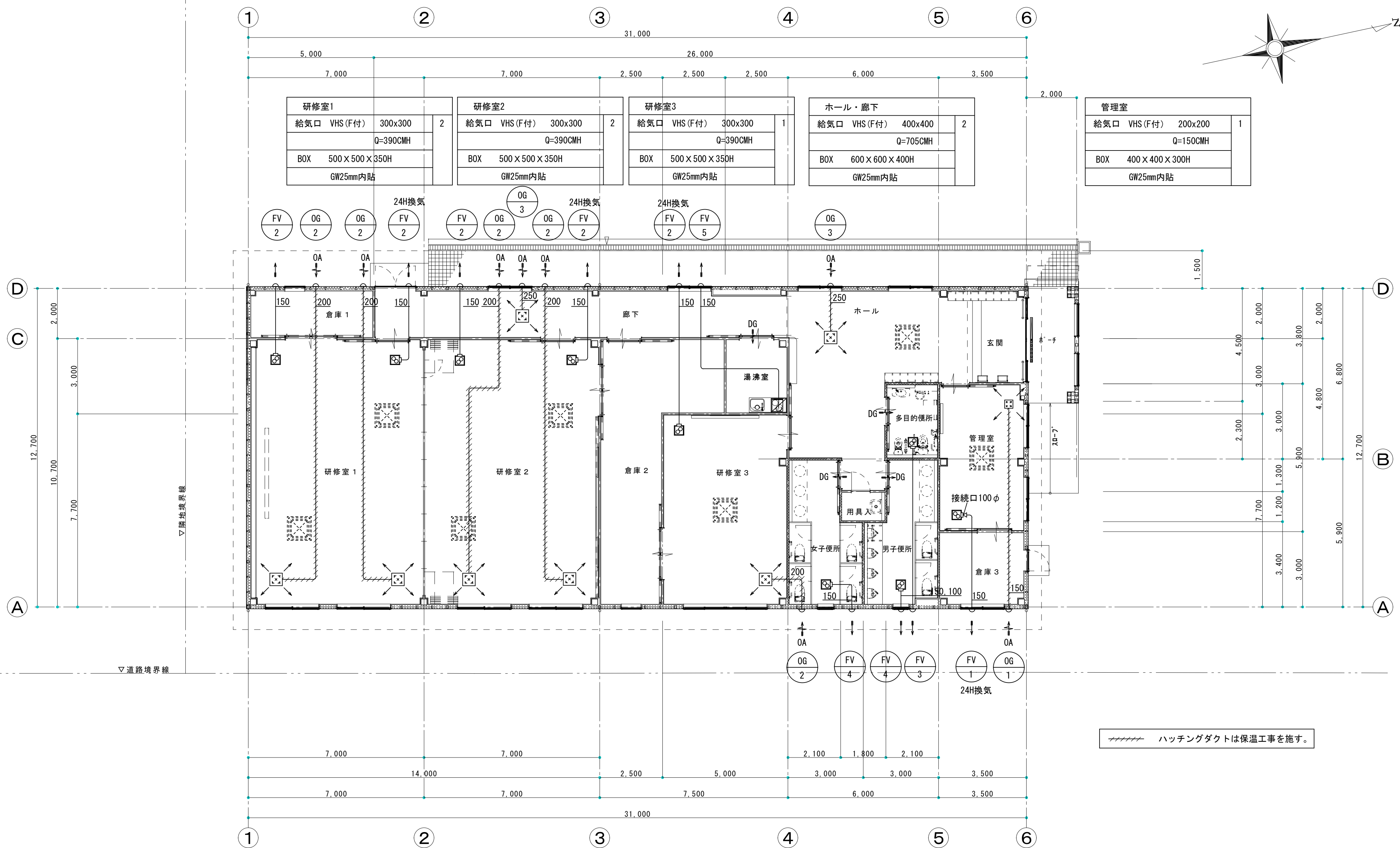
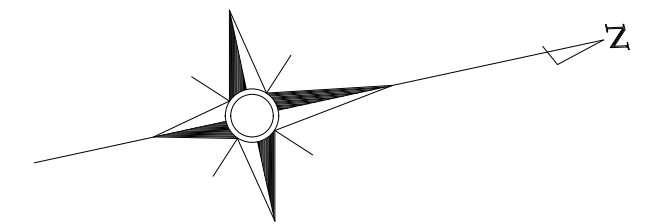
年月日	工事名称	図面番号
	(仮称)津市津西会館別館機械設備工事	
縮尺 A2 NS	図面名	原図A2
<h2 style="margin: 0;">内田構造建築工房</h2> <p style="margin: 0;">一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 No.215989</p> <p style="margin: 0;">三重県知事登録 第1-1522号 〒514-1107 三重県津市久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085</p>		



冷媒管リスト			
記号	ガス管	液管	屋内外機渡り配線
①	12.7φ	6.4φ	EM-EEF 2.0-3C
②	15.9φ	9.5φ	EM-EEF 2.0-3C
③	25.4φ	9.5φ	EM-EEF 2.0-3C

※ リモコン配線 EM-CEES1.25[□]2C [天井内]
EM-CEES1.25[□]2C (PF22) [壁内]

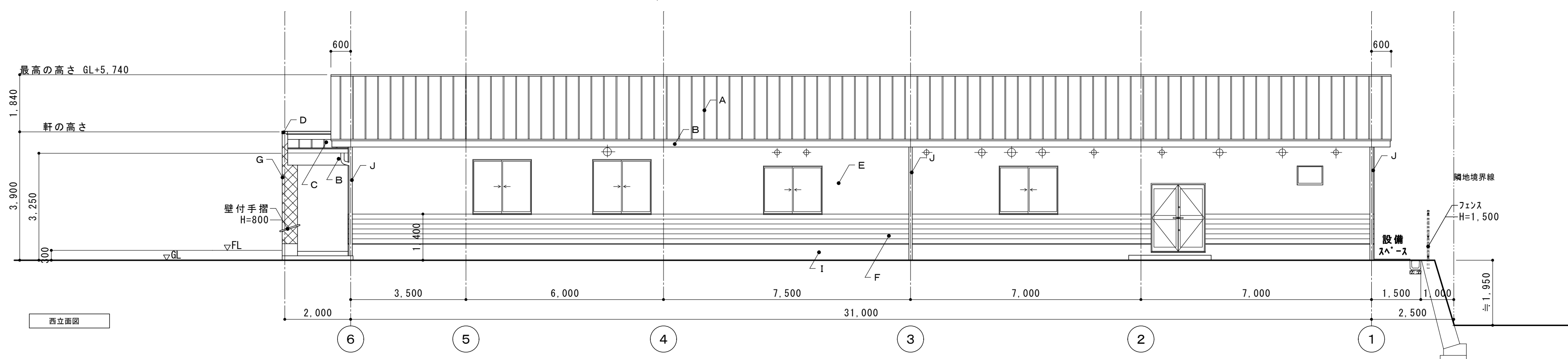
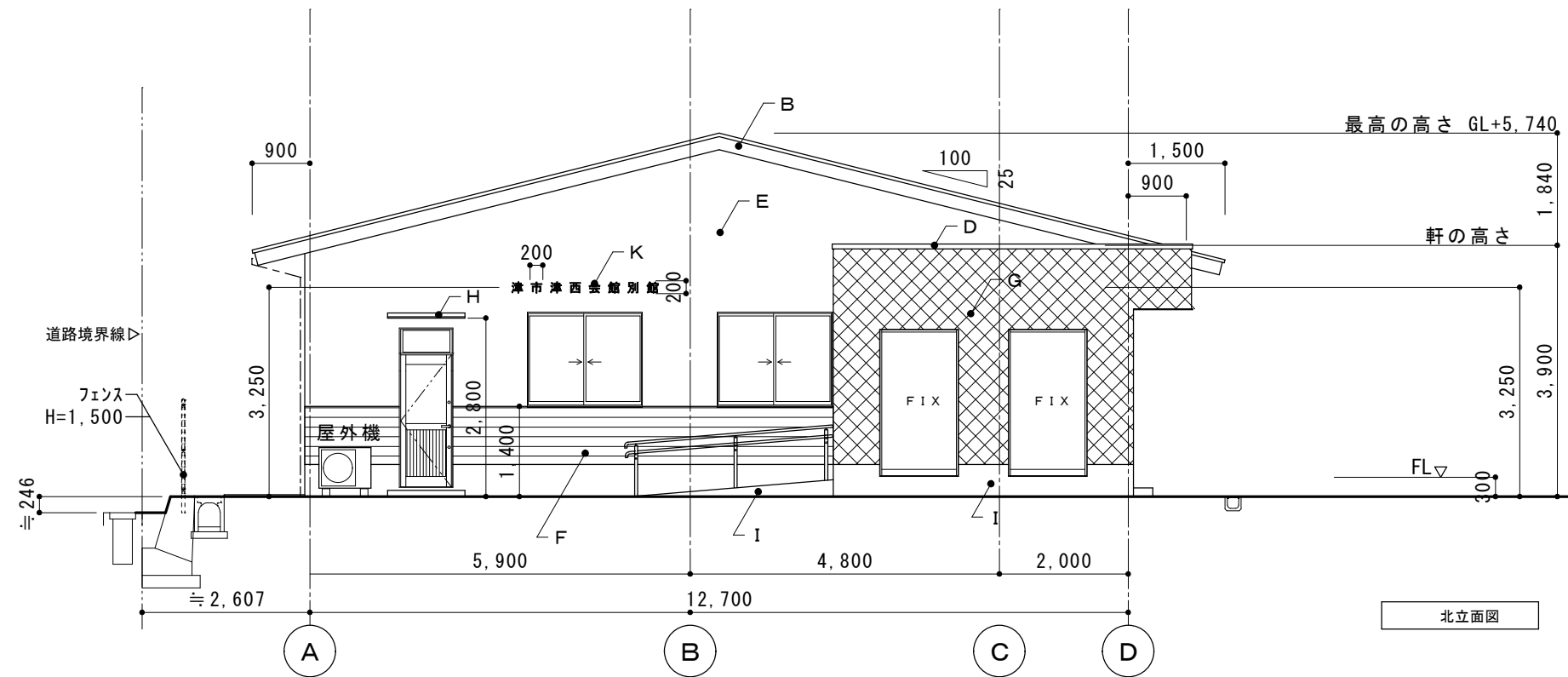
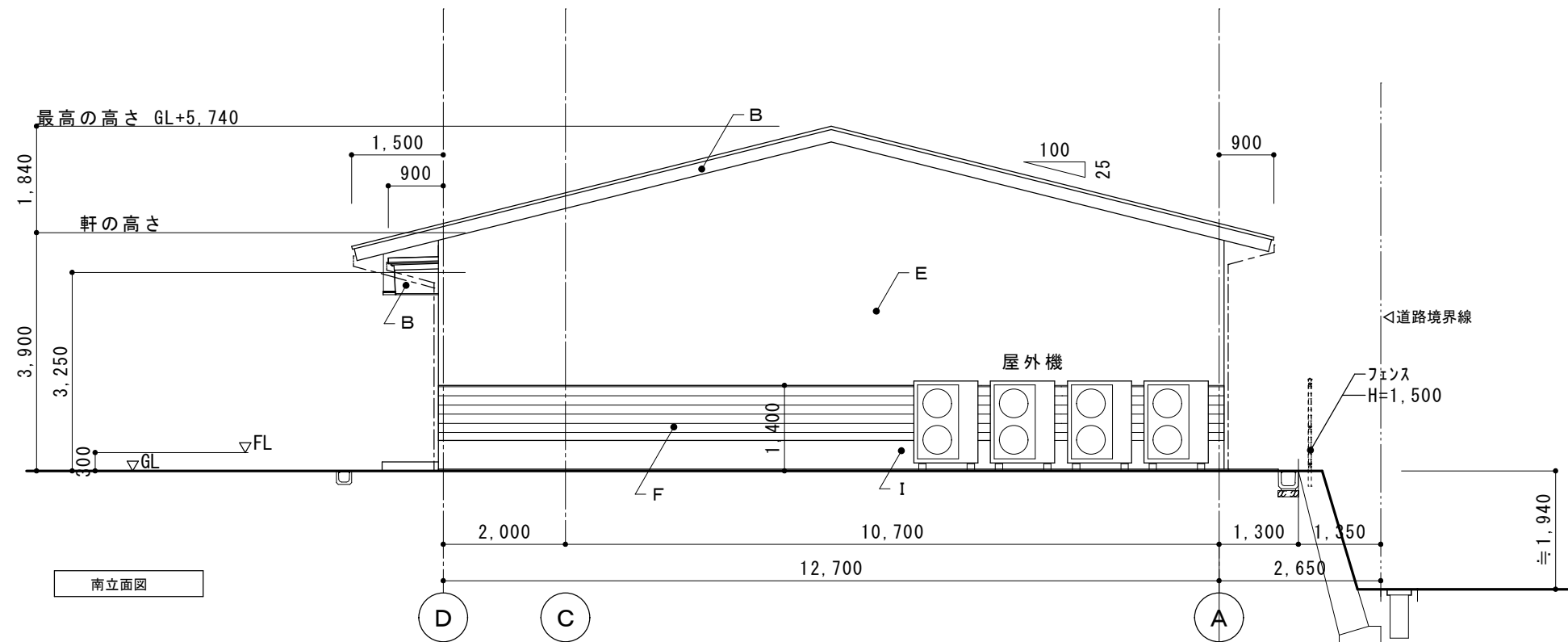
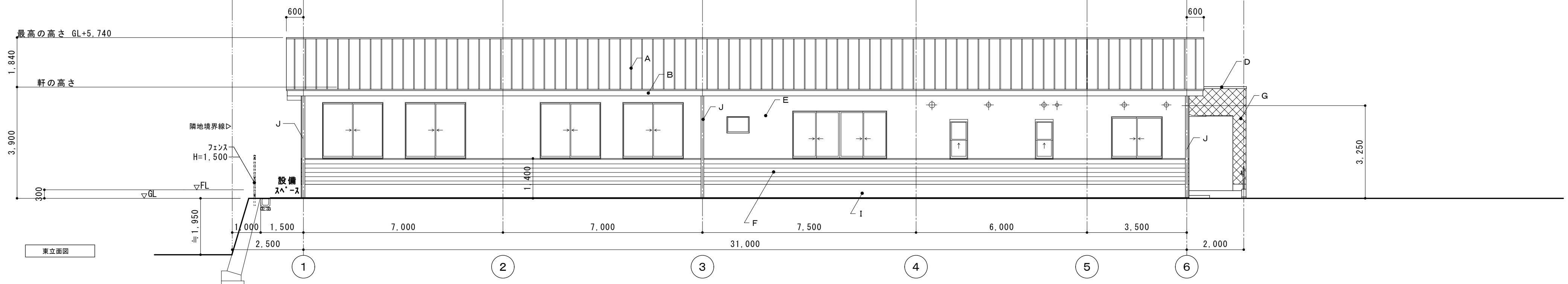
用途：地域集会所
FL=GL+300
GL(標高 20,380) KBM-314
KBM 標高 20,694



////// ハッチングダクトは保温工事を施す。

用途：地域集会所
 FL=GL+300
 GL (標高 20,380) KBM-314
 KBM 標高 20,694

<p>内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 <small>大臣登録番号 一級 No.215989</small></p> <p>三重県知事登録 第1-1522号 <small>〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085</small></p>	年月日	工事名称 (仮称)津市津西会館別館機械設備工事	図面番号
	縮尺 A2 1/100	図面名 換気設備 1階平面図	M-10 原図A2

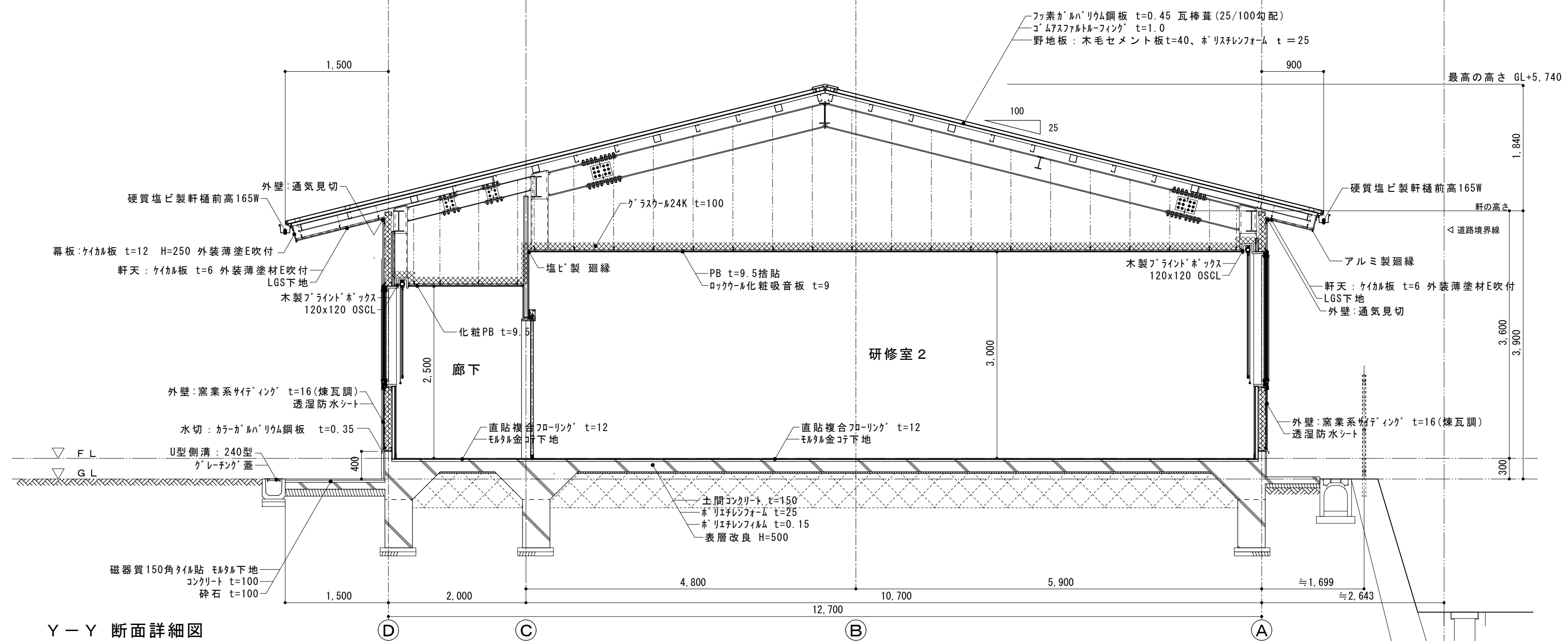


凡例

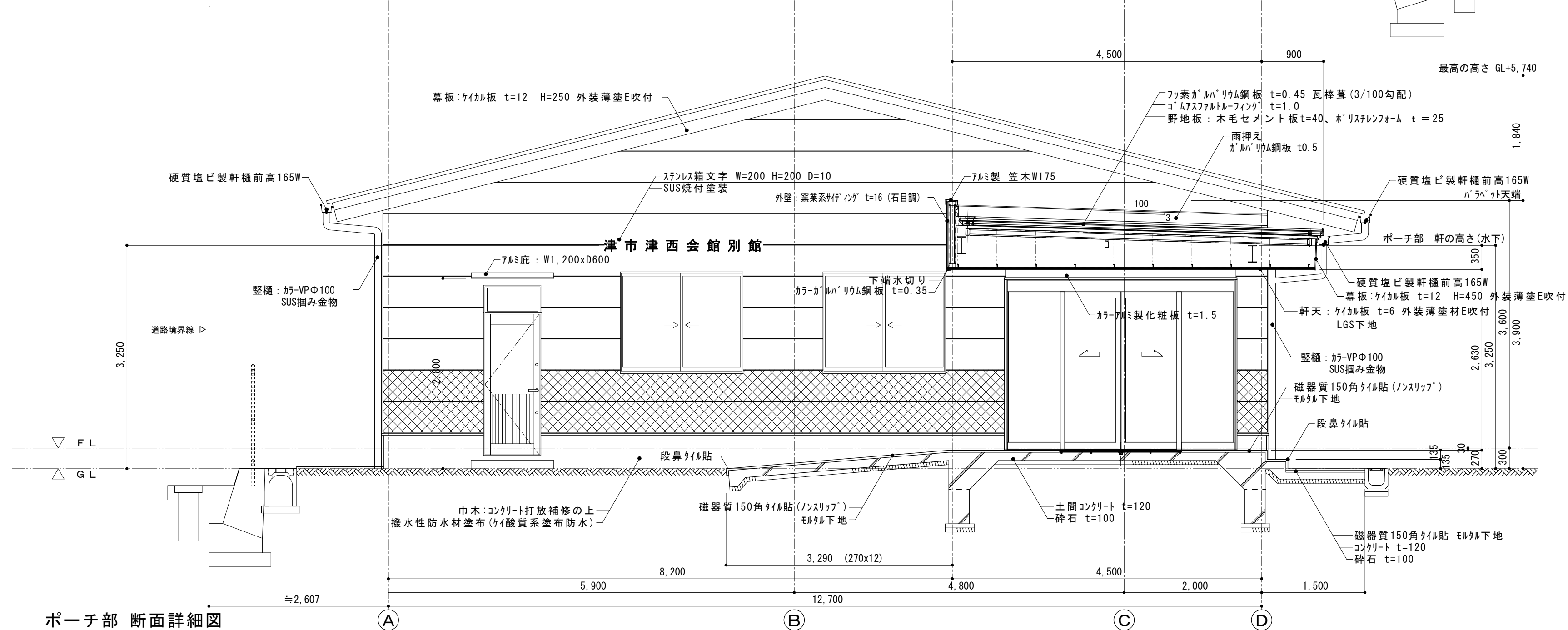
A	屋根:フッ素加工アルミ鋼板 t=0.45 瓦棒葺き (25/100勾配)	E	外壁:窯業系サイディング t=16 (漆喰調)	I	巾木:コンクリート打放し補修の上撥水性防水剤塗布
B	幕板:ケイ酸カルシウム板 t=12 外装薄塗E吹付	F	外壁:窯業系サイディング t=16 (煉瓦調)	J	壁柱:カー-VPΦ100
C	屋根:フッ素加工アルミ鋼板 t=0.45 瓦棒葺き (3/100勾配)	G	外壁:窯業系サイディング t=16 (石目調)	K	館名板:ステンレス箱文字 180角 D10 焼付塗装
D	笠木:アルミ製笠木 w=175(カー)	H	7R製軽量底 1,200x600		

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
 大臣登録番号 一級 №215989
 三重県知事登録 第1-1522号
 〒514-1107 三重県津市久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 (仮称)津市津西会館別館機械設備工事	図面番号
縮尺 A2 1/100	図面名 立面図	M-12 原図 A2



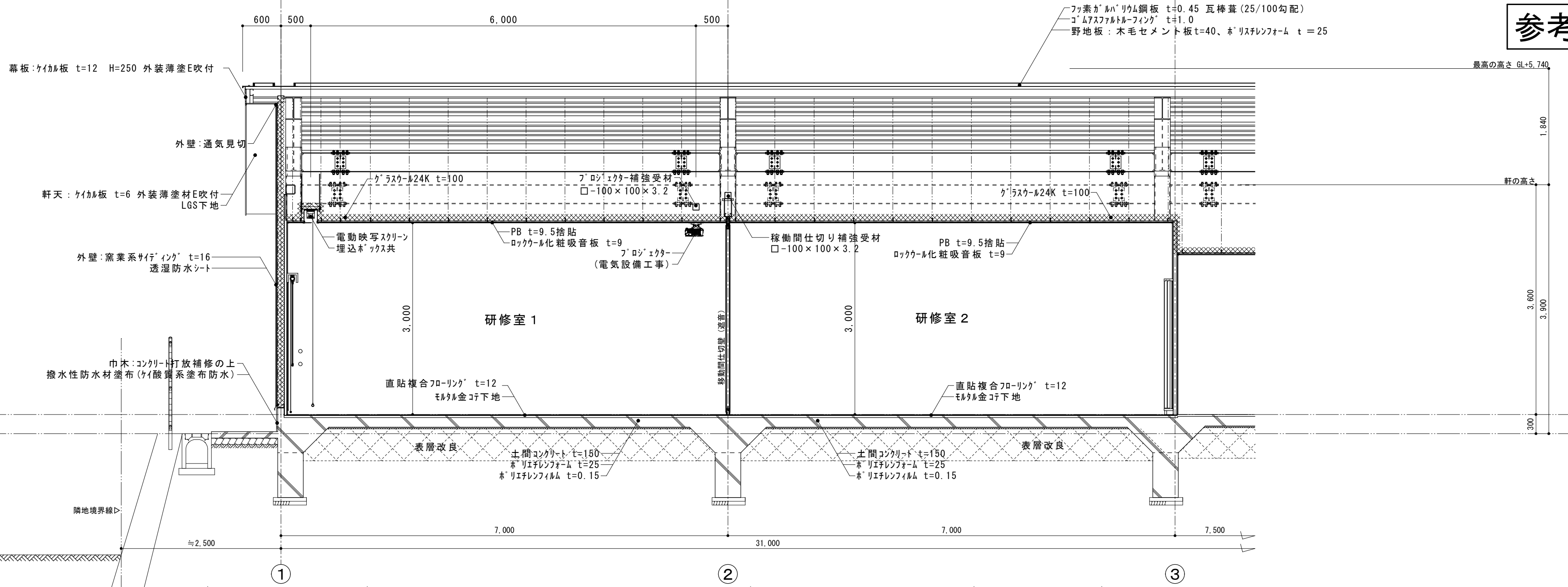
Y-Y 断面詳細図



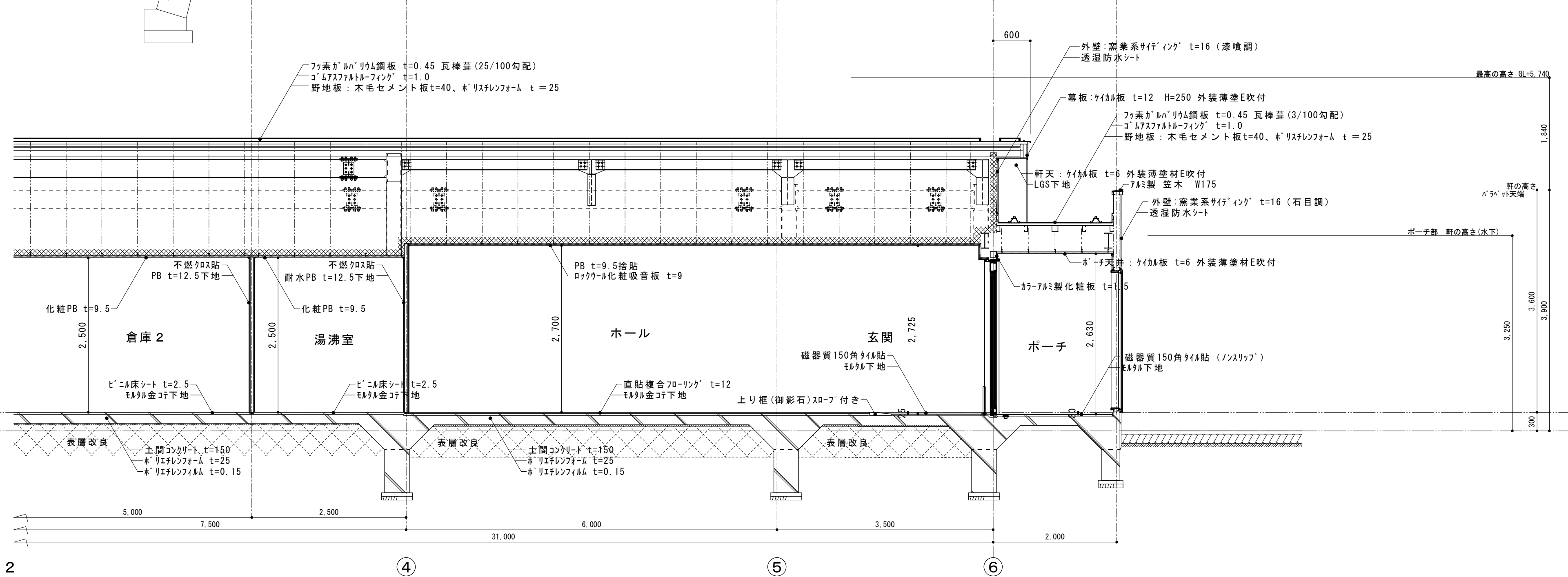
ポーチ部 断面詳細図

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
 大臣登録番号 一級 No.215989
 三重県知事登録 第1-1522号
 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 (仮称)津市津西会館別館機械設備工事	図面番号 参-01
縮尺 A2 1/50	図面名 断面詳細図(1)	原図 A2



X-X 断面詳細図 0 1



X-X 断面詳細図 0 2

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
 大臣登録番号 一級 No.215989
 三重県知事登録 第1-1522号
 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 (仮称)津市津西会館別館機械設備工事	図面番号
縮尺 A2 1/50	図面名 断面詳細図(2)	参-02
		原図 A2